

平成28年5月1日発行

(2ヶ月に一度発行します。)

九州がんセンター外来タイムスについて

・当院では、広報活動のひとつとして外来などに来院された患者さん、ご家族の皆様に広く当院の情報や医療の情報などについてお知らせするため、本誌を発刊しております。

お気軽にお取りいただき、御拝読いただければと考えております。



当院の医療機器についてのご紹介

- ・注射自動払出装置（アンプルピッカー）導入
～より安全で質の高い薬物治療の提供に向けて～

薬剤部

九州がんセンターでは新病院（平成28年3月）から、薬剤部に注射薬自動払出装置（アンプルピッカー）を導入しています（写真1）。アンプルピッカーは電子カルテと連動しており、医師の注射薬オーダー情報が自動的にシステムに送信されます。アンプルピッカーは搭載医薬品のバーコードを認識して注射薬の取り揃えをするため、注射薬払出しにおける人為的ミスを最小限にすることができています。また、注射薬は患者別トレイに1回分ずつ、処方箋、ラベルとともに注射カートに準備され（写真2、3）、冷所医薬品や輸液などの未搭載薬品をセット・確認した後で病棟へ払出されます。薬剤師は最適な薬物治療となるように、注射カートに準備された注射薬の投与量・投与経路・投与速度・配合変化・相互作用などの確認・監査を行っています。

今回のアンプルピッカー導入は、準備段階のミスが減少するだけでなく、患者別トレイに1回分ずつの状態
で注射薬を払出ししているため病棟での投与前確認がしやすくなるという利点があり、病院内の医療安全面に大きく貢献しています。一方、薬剤師が取り揃え業務に費やす時間が減少したことによって医師のオーダー内容を入念に確認できるようになり、より質の高い薬物治療を患者さんに提供できるようになっています。

（写真1）

（写真2）

（写真3）



注射自動払出装置（前面）
（アンプルピッカー）



注射カート



患者別トレイ

端午の節句について

5月になると家の庭に鯉のぼりが掲げられますが、何故だかご存じでしょうか。

今回は、鯉のぼりについて述べさせていただきます。

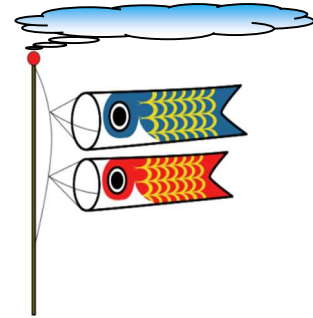
中国の故事で、黄河の急流にある竜門と呼ばれる滝を多くの魚が登ろうと試みたが鯉のみが登りきり、竜になったことにちなんで鯉の滝登りが立身出世の象徴となったと言われています。

栄達するための難関を「登竜門」というのも、この故事からのようです。

鯉のぼりは、本来は真鯉（黒い鯉）のみで、明治時代から真鯉と緋鯉の対で揚げられました。

昭和になり家族を表すものとして子鯉（青い鯉）を添えたものが主流となったようです。

また、たまに見かけるものとして、真鯉に赤い裸の男の子がしがみついている柄がありますが、これは金太郎が自分より大きな鯉を捕まえた伝説に基づくものだそうです。



頭の体操コーナー

- ここからは頭の体操を行うコーナーです、是非参加してみてください。

（初級編）

- 1、ペンや筆も使わず、寝ているときでも、かけるものって何？
- 2、 $5 \div 2 = ?$ 「？」に入る食べ物は何？

（中級編）

- 1、海で騒いでいたら怒られました。何て言われた？
- 2、島の中に6匹の動物がいます。なんていう動物？
- 3、車をつけると乗り物になる書物とは？

- 初級編、中級編と回答できましたでしょうか。

回答は本誌の下の方にありますのでご覧ください。

本誌では、皆さんからの俳句や川柳などもご紹介したいと考えておりますので、遠慮なくご投稿ください。投稿方法については、当院の外来師長、医事担当者にご提出いただければ幸いです。皆様方のご投稿をお待ちしております。

解答（初級編1 いびき、初級編2 ごはん、中級編1 シー（SEA）、中級編2 しろくま、中級編3 辞典）

—九州がんセンター広報部会—